

不老川だより

# 川のささやき

Vol.  
63

2013年4月1日発行  
不老川流域川づくり市民の会  
代表：相馬和彦  
TEL：04-2965-1741  
<http://furougawa.mods.jp/>



不老川水源の一つ  
狭山丘陵大谷戸湿地

contents

## 特集 さいたま緑の森博物館

狭山丘陵の成り立ちと不老川  
山王塚だより「鳥の巣箱づくり」

## 不老川水源域マップ

シリーズ  
来て！見て！不老川

IV 水源を求めて

不老川の水はどこからくるのだろうか。

かつての水源、国道16号を越えた二本木の湿地は既に埋立てられて住宅地になり、所どころ注ぎ込む左岸側からの水量も、ずい分貧弱になっている。今の不老川を支えている自然水は、都市の中で奇跡の様にポッカーリ浮かんだ緑の島・狭山丘陵が受ける天からの水だ。

丘陵の北斜面を訪ねてみよう。山裾にはいくつもの谷戸が残っている。そこから発する小さな流れが禊（みそぎ）川になり、谷（や）川や林川になって、絶えることなく不老川に流入する。

丘陵の自然は保護されて、希少な植物や水生生物が息づいている。これらは美しい風景と共に不老川流域の貴重な財産だ。そしていつかこの地を基に、街中まで大きく広がるいのちの樹を夢みていきたい。

不老川の  
草木



ウグイスカグラ（スイカズラ科）

落葉低木 芽吹きもまだ感じられない  
雑木林でいち早く春を告げる花。2-4月  
にラッパ型のピンク色の花が垂れ下が  
って咲く。果実は赤く熟し美味しい。

# 特集 不老川の水源地 さいたま緑の森博物館



早春の西久保田んぼ

## 【水源を求めて】

不老川の水源地を求めて、狭山丘陵までたどりつきました。丘陵から流れ出る水はまだ人間の手を経ず、本当に清らかです。この水と大地を頼って、私達の身近にはなくなったホトケドジョウ等の多様な生き物たちが、細々と暮らしています。私達は次世代の子供たちに、この風景を残してあげられるのでしょうか。北側斜面を守る「さいたま緑の森博物館」をたずね、案内所の方にお話しをお聞きしました。

## 【さいたま緑の森博物館の概要】

自然の素晴らしさを知り、自然とふれあう場として平成7年にオープンした埼玉県の野外施設です。総面積は85.5ha 毎月のように自然観察会や自然あそびなどのイベントが開かれています。  
 連絡先 〒358-0014 入間市宮寺 889-1  
 開館時間 9時～17時  
 休館日 月曜日（祝日の場合は火曜日）  
 問合せ TEL/FAX 04-2934-4396

## 【緑の森博物館の湿性環境と生き物たち】

さいたま緑の森博物館は、雑木林や湿地、田んぼや畑など、里山の自然環境や景観を展示物とした野外博物館（フィールドミュージアム）です。入間市域には、湿性環境として西側に西久保湿地、東側に大谷戸湿地が残されています。それぞれの湿地には、水生の昆虫をはじめ、多様な動植物が生息しており、トンボの仲間は、過去の記録を踏まえると全体で50種確認されています。最近では、西久保湿地で23種、大谷戸湿地は22種の生息を確認しました。



西久保湿地で行われた食育体験教室『お米をつくろう』草取りをしています。他にも色々なプログラムがありますよ



## 【西久保湿地】

西久保湿地の谷戸から水が湧き出て、禊（みそぎ）川へと流れ込んでいます。湿地には、田んぼが復元されて、昔ながらの谷戸田の風景が残されています。田んぼが残されているため、コナギやアブノメ、春先にはコオニタビラコなどの植物も見られます。初夏には、田んぼの周りにオレンジ色のヤブカンゾウの花が緑の中に映えて、美しいですよ。他にも、田んぼの畦や畑に生息するハンミョウの仲間のコハンミョウや、「ため池」にはヒメガムシ、マメゲンゴロウ、ハイイロゲンゴロウなどの水生甲虫も生息しています。



コオニタビラコ

## アクセス

電車：西武池袋線「小手指駅」下車  
 南口から西武バス「宮寺西」行き  
 又は「箱根ヶ崎駅」行き 25分  
 「荻原バス停」下車、徒歩 10分  
 車：国道16号線「宮寺交差点」から南へ2.7キロ



さいたま緑の森博物館案内図



緑の森博物館の長谷川さんと坂本さん

## 【大谷戸湿地】

大谷戸湿地は西久保湿地よりも面積が広く、ヨシが多く茂る湿地となっています。春先のヨシの生え始めの頃は、若緑色のヨシが一面に広がり春の訪れを感じさせてくれます。大谷戸湿地から流れ出た水は不老川へと流れ込んでいます。広い面積のヨシ原には、西久保湿地同様に多くのトンボ類が生息しており、春から秋にかけて様々な種類のトンボを見ることができます。湿地の周辺には、スゲ類が多く生えているため、キヌツヤネクイハムシ（スゲハムシ）が多く見られます。スゲハムシは個体により体色が光沢のある青系～赤系まで変化が多い面白い昆虫です。他にもアカガエルの仲間やシュレーゲルアオガエルなどの両棲類なども生息しており、春はカエルの合唱も聞こえてきます。カエルを狙って、タヌキが姿を見せる時もありますよ。

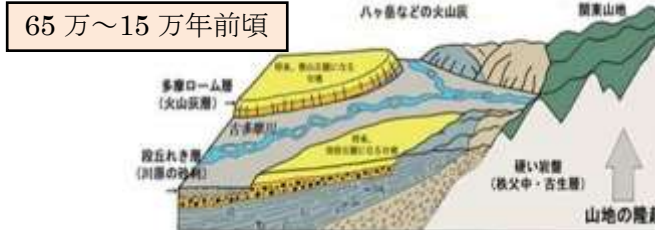
最後になりますが、さいたま緑の森博物館は、自然全てを展示物とした野外博物館です。今回では書ききれないくらいの動植物が生息しています。動植物は採集をせずに、観察してくださいね。博物館からのお願いです。

さいたま緑の森博物館  
 インタープリター 長谷川勝



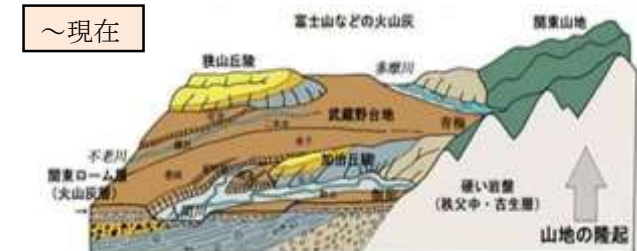
## 【狭山丘陵の成り立ちと不老川】

奥武蔵の山麓からなだらかに広がる武蔵野は、東京都青梅市を頂点として東にのびる扇形をしています。数万年以上も昔には、現在の不老川的位置には古多摩川と呼ばれる大きな川が流れていましたが、その後流路が変化して今の多摩川になりました。

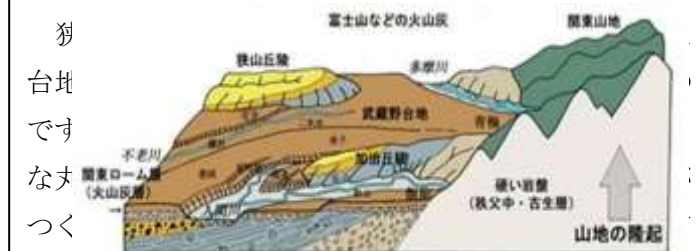


65万～15万年前頃

古多摩川は多くの土砂を運び扇状地をつくりました。これが武蔵野台地です。土を掘ると、川が運んできた砂礫（されき）が堆積して厚い層になっています。その上は、火山灰の降り積もった関東ローム層になっています。



～現在



羽台地ですなすつく

いるのですね。



2月10日(日)、山王小学校の工作室を借りて、鳥の巣箱作りをしました。12組の親子が、設計図を基に板を切り、釘を打つ音はたいそうにぎやかでした。

最後に様々な模様をつけてできあがり。今年は自宅に持ち帰る参加者が多かった。

この巣箱はシジュウカラ用です。鳥の種類により、全体の大きさ、丸い入り口の直径が決まります。

前年に掛けた巣箱8個は、半数が使われていました。年々利用数が増えます。ふたを開けてみると、巣箱の床いっぱい苔を敷き、その上に犬の抜け毛が敷き詰められています。この森のシジュウカラの寝床の構造は、毎年同じようです。あの小さな体で、どこから苔や動物の毛を集めるのか、子育てのための努力に脱帽です。 村手

## 川仲間バンザイ!

田端 陽菜 (はるな) さん

不老川とは3歳の頃からのおつきあいです。ママに連れられて川歩きに参加、樽井戸川沿いを5キロも歩いて、いまでも川仲間の語り草です。今まで不老川の水質調査や魚類調査にも参加してきました。

今年から中学1年生、天文に夢中の理科少女です。



子供たちに紙芝居“いのちの森”を上演中

### ☆春の川歩き



おさそい

さわやかな風に導かれて

水源の森を散策しよう

日時 4月27日(土) AM9:30~

集合 さいたま緑の森博物館駐車場

持物 昼食 飲み物

問い合わせ: 相馬 04-2965-1741

### ☆ 鳥になろう 魚になろう

#### 大森の池まつり

日時 7月21日(日) 10時~15時

会場 入間市宮寺 大森調節池

参加費 100円 雨天中止

問い合わせ: 相馬 04-2965-1741

★川歩きクラブ 毎月第1木曜日  
狭山市入曽地区を定期的に歩いています。

★山王塚の森手入れ 毎月第3水曜日 10時~  
問い合わせ: 村手 04-2957-3425

### 流域情報

★川の再生交流会 主催 埼玉県

2月4日(日) さいたま市民会館で開催

「みんなでつくろう川の国埼玉」をテーマに  
県内で活躍する関連団体が交流した

午前の部 表彰式と活動発表

午後の部 6分科会に分かれ討議 当会は  
第5分科会に参加、「不老川の多自然川づくり」  
について発表し討議した

★さやま環境市民ネットワーク総会

日時 5月12日(日) 2時(受付1時半~)

会場 市民交流センター 第1ホール

主催 NPO法人 さやま環境市民ネットワーク

### 編集後記

狭山丘陵の湧水を利用した谷津田に、アカガエルの小さなおたまじゃくしが泳いでいました。芽吹きも始まり、真っ白なコブシの花と相まって、春の心和む風景です。不老川にとっても大切な水源地です。一層の保全が望まれます。

## 会員募集中

年会費: 1000円

定例会: 毎月第3土曜日 13:30~

問い合わせ: 相馬 04-2965-1741